

# 名東今昔パネルリスト 1

## 1 展示にあたって

**展示にあたって**

日頃から名東区政の推進にご協力いただきありがとうございます。さて、名東区はこれまで若いまちと言われてきましたが、いま、まちとして成熟の時代を迎えつつあります。名東区は交通の利便性も高く、市内屈指の良好な住宅地であり、自然環境にも恵まれていることから「住んでみたいまち、住みやすいまち」との評価を得ています。この恵まれた特性を、どうか、つなげていくのか、それがこれからの大きな課題であると思います。

そのために、まずは私たちのまちがどのように変わってきたのかを知っておくことが大切なのではないか。このような思いのもと、今回の展示を行うことといたしました。

皆さんお一人おひとりの名東区を思い出しながら、お楽しみいただければ、嬉しく思います。

また、今後も引き続き、このようなパネルを作成してまいりたいと考えております。是非、写真提供のご協力をお願いいたします。



昭和45年頃 地下鉄の駅通  
一上り駅前から東山を望む  
写真提供 篠原小守氏

## 2 デッチョ池北岸





昭和32年  
西山学区  
撮影場所は、54年前のデッチョ池北岸を南側から。  
デッチョ池周辺は、昭和30年に名古屋市長により施行された猪苗山土地区画整理事業により整備されました。  
区画整理後、池北岸には多くのマンションなどが建設され、閑静な住宅街と変わりりましたが、池上には現在も同じ異様な台が残っています。  
また、写真手前（神戸公園内側）に植樹された木々が成長して、現在、同アングルでは池が見えなくなっています。  
↑現在の撮影場所付近  
↑現在の撮影場所付近

昭和32年

西山学区

## 3 名東本通から北を望む その1





昭和38年  
名東・西山学区  
撮影場所は、神戸中学校北側から名東本通を挟み高間町方面。  
高針街道の高針橋以西に位置する丘陵地帯であり、撮影当時は道路網の整備とそれに合わせて徐々に建ち始めた民家などが疎らに建ち並んでいましたが、現在では通り沿いには店舗・事務所が、一歩足を踏み入れれば住宅街というまち並みもなっています。  
写真（上段）の左手にある小高い緑地がもう一枚のパネル写真の中央にある緑地です。  
↑現在の撮影場所付近  
↑現在の撮影場所付近

昭和38年

名東・西山学区

## 4 名東本通から北を望む その2





昭和38年  
名東・西山学区  
撮影場所は、ダイエー1・2・3の三叉路（名東本通5丁目交差点）から高間町方面、高針街道の高針橋以西に位置する丘陵地帯です。  
こちらの写真は、農耕地帯に点在する葉落を穿したような雲の隙の隙、曇りな風景が写し出されています。  
写真（上段）の中央にある緑地が、もう一枚のパネル（名東本通から北を望む その1）の左手にある小高い緑地です。  
↑現在の撮影場所付近  
↑現在の撮影場所付近

昭和38年

名東・西山学区





13 高針街道 (中馬街道)



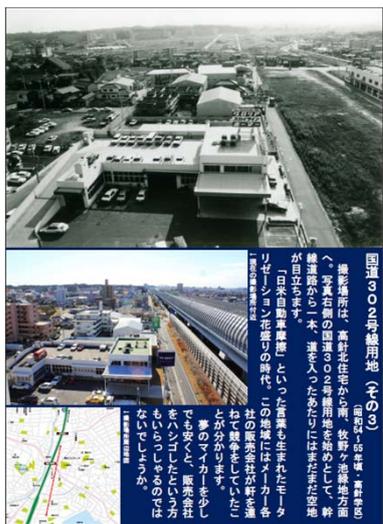
年代不明 (太平洋戦争前) 高針学区

14 東勝寺付近



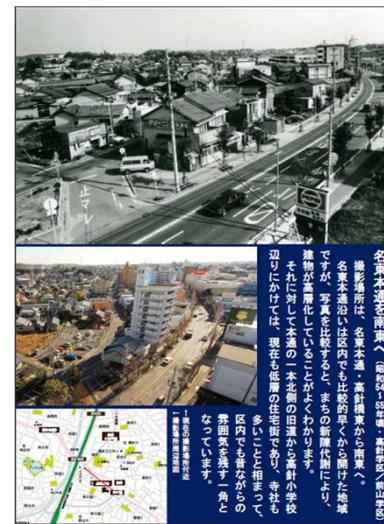
太平洋戦争中 高針学区

15 国道302号線用地 (その3)



昭和54~55年頃 高針学区

16 名東本通を南東へ



昭和54~55年頃 高針・前山学区

